

# あきた外科専門研修プログラム

定員  
15名



**プログラム統括責任者**

消化器外科専門医  
プログラム責任者

有田 淳一 教授



**プログラム副責任者**

心臓血管外科専門医  
プログラム責任者

中嶋 博之 教授



**プログラム副責任者**

小児外科専門医  
プログラム責任者

水野 大 病院教授



**プログラム副責任者**

呼吸器外科専門医、食道外科専門医、  
乳腺専門医プログラム責任者

今井 一博 准教授

専門研修 担 当 者 佐藤 雄亮 病院准教授  
TEL.018-884-6132 FAX.018-836-2615  
連 絡 先 E-mail yusuke@doc.med.akita-u.ac.jp

**プログラムの特徴**

あきた外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- (1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- (2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- (3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェSSIONALとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- (4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- (5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺・内分泌外科領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

**プログラムの説明**

2018年から日本の専門医制度は変わりました。19の基本領域に分けられていますが、外科はその1つです。将来、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、小児外科のいずれかの専門医になるためには、まず外科専門医を取得しなければなりません。外科専門医を取得するためには、初期臨床研修医2年目の後半に、日本全国で242ある外科専門研修プログラムのうちどれか1つを選択し、3年目、4年目、5年目の3年間、そのプログラムに属して修練を積む必要があります。この3年間で手術経験350例以上、術者120例以上をクリアしなければなりません。当プログラムでは余裕をもってクリアすることが可能です。なぜなら年間最大で15名の専攻医を育てられる手術件数があるからです。2018年は10名、2019年は8名、2020年は5名の

専攻医がプログラムを開始しましたが、まだまだ余裕があります。秋田県内外にある23の関連施設には秋田大学卒の熟練した外科医が多数在籍しており、未来の秋田県の外科医療のために熱意を持って専攻医を育ててくれます。さらにはサブスペシャリティ専門医取得に繋がる高度な指導をしてくれます。

日本全国には32万人の医師がいますが、外科専門医はたった23,790人（2020年11月時点）しかいません。サブスペシャリティ専門医を持っている外科医はさらに少数です。自分の将来のために、自分の存在価値を上げるために専門医を取得しておくことはとても重要です。我こそは/という方は、まずは外科専門医を当プログラムで取得しましょう。

**施設認定、関連施設など**

秋田大学医学部附属病院を基幹病院として、主に秋田県内の関連施設（23施設）により専門研修施設群を構成します。

**外科専門医制度の骨格**



**取得までのキャリアパス**



◆主要なサブスペシャリティ:消化器外科専門医、呼吸器外科専門医、心臓血管外科専門医、小児外科専門医、乳腺専門医